

会 議 録

会議の名称		第 8 回（仮称）研究学園小学校、研究学園中学校 開校準備委員会		
開催日時		令和 4 年 5 月 12 日（木） 開会 18：30 閉会 20：30		
開催場所		つくば市役所 4 階 ミーティング室		
事務局（担当課）		教育局 学務課		
出席者	委員	稲川綾子、菅典子、橋本恭子、小泉悠、鈴木夕紀子 相澤健太郎、野尻敏弘、富岡暁子、槇幸子、山崎順一 中原卓治、松延亮一		
	事務局	教育施設課課長鈴木聡、学び推進課指導主事関直子 学務課課長下田裕久、学務課課長補佐川又文江 学務課係長中山美希、学務課主任篠原周平 学務課主事霜鳥壮彦		
公開・非公開の別		☒ 公開 ☐ 非公開 ☐ 一部公開	傍聴者数	0 人
非公開の場合はその理由				
議題		(1) 校章デザインについて (2) 制服・体操服について		
会議録署名人			確定年月日	年 月 日
会議次第	1 開 会 2 議 事 (1) 校章デザインについて (2) 制服・体操服について 3 その他 4 閉 会			

＜審議内容＞

1 開会

2 議事

事務局：ただ今から第8回（仮称）研究学園小学校、中学校開校準備委員会を開催いたします。事務局からお願いとなりますが、本日は、オンライン会議システムのZoomを使用しておりますため、会議中は、カメラをオン、マイクはミュートに設定いただきますようお願いいたします。また、ご発言いただく際には、ミュートを解除いただき、お名前を仰っていただいてから、ご発言をお願いいたします。それでは、これより議事に入りたいと思います。議事の進行につきましては、委員長をお願いしたいと思います。よろしくをお願いいたします。

委員長：今日もよろしくお願いいたします。早速議事に入る前にですね、今日も傍聴があるかどうかを確認させていただきたいと思いますが、事務局の方いかがでしょうか。

事務局：はい、事務局です。本日傍聴人はいらっしゃいません。

委員長：はい、ありがとうございます。では早速、議事に入っていきたいと思います。まず1点目が校章のデザインということでございまして、前回の委員会で一つに絞り込みさせてもらったものに対して、デザイナーの方にはですね、ブラッシュアップしていただいたということで、2案準備いただいておりますので、その辺のご説明、特にデザイナーさんのお考えとかがあればですね、いただきながら事務局の方で説明いただければと思いますので、事務局の方、説明の方よろしくお願いいたします。

事務局：はい、委員長ありがとうございます。事務局です。資料1と書かれているものをご用意ください。一番左側に縦に並んでいる四つのデザインの方が、前回のデザイナーさんからいただいた原稿案になっております。バージョン1・バージョン2と書いておりまして、前回の委員会の中で、金縁の刺繍のようなものをデザインに追加していただきたいというようなご

意見を賜りましたので、その旨デザイナーさんにお伝えさせていただいて、修正いただいたものになります。バージョン1については真ん中の研究学園と書かれていた帯の部分と、あと枠を金刺繍していただいたものが一つとなります。もう一つの方は、真ん中の帯の部分のところは変わらないんですけれども、枠の部分は、当初の案の通りの白い枠のままとなっております。バージョン2をご用意いただいたのは、デザイナーさんとしては、すべて金で覆ってしまうと、ちょっと学森の校章の方に似通ってしまうというところを危惧されて、外枠の部分を白のままにしたものを一つをご用意いただきました。今回のこの二つの案の中からですね新設校の校章のデザインを決定いただきたいと思います。委員長、よろしくお願いいたします。

委員長：はい。ご説明ありがとうございます。この2案につきまして、どちらにするかっていうことを最終的に決めていきたいと思いますけれども、実際にパッと見た印象とか、そういったところも含めて構いませんので、どなたか意見とか、使い方も含めてどちらがいいとか、何かご意見あれば、ぜひ皆さんお願いできればと思います。いかがでしょうか。今回も挙手のボタン押していただければ、私の方で指名させていただきますので、よろしくお願いいたします。はい、お願いします。

委員：今日もよろしくお願いいたします。もう完全に好みの問題になってしまうのかなと思うんですけれども、バージョン1の方がですね、何か遠目に見ても、ピリッとシンボルが引き立ってる感じがして、私は1の方が好きかなというふうに思っています。以上です。

委員長：はい、ありがとうございます。他、皆さん率直な感想とかいただければと思います。はい、お願いします。

委員：私も周りと研究学園のところ、両方とも金刺繍のバージョン1の方が、綺麗かなと思います。フクロウが白いので、ちょっと白身が多くなってしまっ、学森に似てるのかもしれないですけど、金刺繍が多いほうが綺麗

に見えると思います。以上です。

委員長：はい、ありがとうございます。この紙で見ると、確かにそうですね。

はい。次、お願いします。

委員：今日もよろしくお願いします。私も第1印象ですが、バージョン1の方が、縁どりがしっかりしていいかなと思いました。学森に似てしまうのかもしれないんですけど、全く知らない方は、これがかっこいいって思ってくれるんじゃないかなと思います。以上です。

委員長：はい、ありがとうございます。他の方は、はい、お願いします。

委員：前回の経緯がわからないので、バージョン1と2だけのお話でさせていただくと、一般的には周りに黄色になるんですかね、縁があった方が、エンブレム自体はやっぱりブレザーになるのか校章、旗とかになるのかわからないですが、一般的には、周りに縁がある方が映えますので、見た目で言うのであれば1。2だとやっぱり縁がない分、ちょっとぼけてしまうっていうのがありますので、1の方が客観的に見てもいいのかなとは思いますが。

委員長：はい。ありがとうございます。他はいかがでしょうか。はい、よろしくお願いします。

委員：よろしくお願いします。家の子供に内々でどっちがいいって見せたところ、バージョン1の方が良いという意見がありました。一応子供目線の意見、参考までにお願いします。

委員長：はい、ありがとうございます。他はいかがですか。そうですね、学校側からご意見とかいただけるとありがたいですが、いかがでしょうか。

委員：私も皆さんと同じような印象で、縁があるバージョン1の方がいいかなというふうに考えます。ただ、この後いろいろ、制服につけるだとかいうことを考えたときに、価格的に金縁が増えることで、どうなのかなって、上がらなければいいなという心配があります。以上です。

委員長：はい。ありがとうございます。今の意見に対して、カラーの使い方とかで、ワッペンとかの単価とかって変わるものかどうかとか、その辺、事務局から何かご意見とかあれば、お願いできればと思いますが、いかがでしょうか。

事務局：現時点では価格の部分をご説明できないんですけども、今後メーカーさんをご相談になる事項かと思います。ご回答になってませんが、よろしくお願いします。

委員長：はい、ありがとうございます。そうですね。今までのところだとバージョン1ですけども、何かちょっとバージョン1・バージョン2をですね、制服とかかばんとか何かにつけるのを頭の中にイメージしながらですね、改めて、バージョン1がいいかとか、バージョン2がいいかとか、もしあればご意見、最後にいただければなと思いますけども、いかがですか。資料も白が背景と黒が背景で、また見え方がちょっと違ったりするかと思いますけど、両方ともぱっと見はバージョン1の方がゴージャスに見えるかなと思いますけども、見方によっては印象変わるかなっていうところもあるのかなと思ったりしたんですが、その辺、何か改めてご意見とかあればと思いますが、いかがでしょうか。まだご発言してない方とかで、同じ意見でも構いませんので、何か意見とかあれば、ぜひと思いますが、いかがでしょうか。大丈夫ですかね。今までの意見を聞かせていただいて、意見が割れたらこの場で多数決採ろうかなというのも考えたんですけど、今のお話すると、皆さんほとんどバージョン1なので、多数決採るまでもなくバージョン1で委員会として選定させていただければなと思いますが、皆さんいかがでしょうか。よろしいでしょうか。じゃあ、基本的にバージョン1で確定というような形で、これは決議させていただきたいと思いますので、はい、よろしくお願いいたします。事務局の方々、議題1はこれで終了ということでお返ししますので、続いて議題2に入りさせていただきます

と思いますが、それで大丈夫だったでしょうか。

事務局：はい、事務局です。大丈夫です。皆さんありがとうございます。

委員長：はい。続きまして議題 2、制服・体操服について、議論に入らしていただきたいと思います。今日アンケートの方、事務局の方でご尽力いただきましてありがとうございます。まずアンケートの結果を簡単にご説明いただければと思いますので、事務局から説明の方よろしく願いいたします。

事務局：はい。事務局です。右上に資料 2 と書かれましたものをご説明させていただきます。こちらは以前ですね、制服・体操服ということで学園の森義務教育学校に通われている児童・生徒さんがいらっしゃるご家庭の方にご協力いただいて、アンケートを回収いたしました。全体として 619 件の回答を受けております。まず制服のアンケートにつきましては、設問の最初としてですね、新設中学校の制服について、全部指定がいいのか、一部指定がいいのかというところを取らせていただきました。その結果、そちらのグラフの通りですね、一部指定の方が、55.7%というところで、過半数を超えているというところの結果がございます。（2）番の方で、もしこの一部指定とした場合に、ブレザー以外でどの部分を指定するのが良いと思いますかというところにつきましては、今回、ネクタイ・リボンについては 67.2%の方がですね、指定の方が良いと回答いただいております。スラックス・スカートについては 42.3%、以下そのような記載の通りとなっております。新設中学校の制服について重視することは何ですか、といったところでは、動きやすいや着心地といったところが、8割を超えて票を得ております。各デザイン性といったところも、重視されている結果となっております。続いてですね、今回、すべて指定が良いと回答された理由のところを自由記述で集めさせていただいております。様々なご意見いただいております。また一部指定が良いと希望された理由のところも、別

紙2の方に自由記述の部分はまとめさせていただいております。あと、新設中学校の制服について重視することは何ですかといったところでは、この自由記述の部分については別紙3の方にまとめさせていただいております。制服のアンケートについては以上となります。続いて2番、体操服のアンケートは同様にですね、制服と同様に全部指定がいいですか、一部指定がいいですかというところの設問を用意させていただきました。その結果、7割を超える方が、すべて指定が良いというふうな回答をしています。

(2)番・(3)番の方につきましても、記載の通りとなっております。その次ですね(4)・(5)・(6)につきましても、自由記述していただいたところにつきましては、別紙4と5と6の方にまとめさせていただいておりますので、目を通していただければと思います。ここで詳細な分析というところで、皆さんにご満足いただけるかどうかというところはあるんですけども、制服のアンケート、体操服のアンケートについて学年別のお子さんがいらっしゃる世帯の方で区分けをさせていただきました。制服アンケート全量というところは、今回アンケート回答いただいた方のすべてのアンケート結果をもとに、学年別に傾向を見させていただきましたけれども、各部分につきましても、一部指定が良いといったところがですね、大体6割前後といったところで、賛同いただいている方が多いという結果になっております。また今回、新設校の通学区域はまだ決まっていないんですけども、予定区域に住まわれている方からの回答のみを抽出したものが、新設予定通学区域在住者のみといったところの内容になっております。全体で619件あったうちの364件が、新設校の通学区域に住まわれている方からの回答となっております。そちらについても58%程度の方が、一部指定が良いというふうに回答いただいております。学年別に見ていくと、現在制服を持たれている、7年生・8年生のお子さんがいる家庭については、この一部指定が良いといったところが、より望まれる傾向が高い

といったところが見受けられました。若干、元の票数が少ないので一概には言えないんですけど、そういった傾向が見受けられました。また、体操服のアンケートにつきましては同様の分析をさせていただきまして、こちらの方も、概ね全体の結果と同様にですね、7割程度の方がすべて指定が良いというような結果になっております。以上、今アンケートの結果というところでは、以上になります。では委員長、お返しさせていただきます。

委員長：ご説明ありがとうございます。いろいろ決める前にまず単純に、アンケートの結果について気になる点とかあれば、事務局の方に質問いただければと思いますけども、どうでしょうか。そうですねアンケート自体、おそらく学森のPTA、保護者関係は確か700、800世帯だかと思えますけれども、30%くらいですかね。新設校に通わない方も結構回答していただけるということで、学森の現在の中身の状況についても、いろいろ思いがあるからこそ意見をいただけたのかなっていう部分もあって、非常にやった甲斐のあったアンケートかなと思ってるところでございますので、アンケートの結果について、特にすぐ聞きたいことがないのであれば、議論していく過程でまた、随時、質問いただければと思っております。議論の前に今日、事前にご意見を伺ってるので、代理で発言させていただくと、結果の傾向としては、ほぼイメージに近い結果が出てきたのかなというところで、どちらの方法で作っていくにしても、個人としては自分で選択できるような、簡易的なものがないというようなご意見ですとか、あと体操服が前の学校とかと比べて少し高いとかいう印象なので抑えられたりしないかっていうところ、事前に関心をいただいているので、代理で発言させていただきました。そういったところも含めて、何か皆さん議論にあたって、気づいた点とか、ご意見があればお願いしたいと思います。よろしくお願いします。いかがでしょうか。はい、お願いします。

委員：はい。アンケートの回答ですかね。一通り個別の回答もいろいろ拝見さ

せていただいたんですけれども、皆さんやっぱり同じアンケートでも受けとめ方がいろいろ違うんだなっていうのが正直な感想です。個人的な意見として、一部っていう形にさせていただいたんですけど、制服を採用するという前提の話で、一部っていうのは、例えば靴下だとかワイシャツ等は消耗品なんで、白とかそういうもので統一すればいいのかなっていう意味合いだと思ったんですけど、他の方の意見だと、個性がとか、多様な意見があるんだなっていうのを思いました。私には思いつかなかった観点だったんですけど。あとは体操服も含めてなんですけど、やっぱり価格っていう部分は、ある程度、使い勝手も含めてなんですけど重要視はしてもらいたいなって思います。あとメンテナンスというところで、やはり家庭の洗濯機とかで洗えたりするっていうこともいいのかなって思ったりしましたし、あとは今、実際問題、体操服について皆さんの意見で意外だなと思ったのは、全部指定が多いっていうところなんですけど、半袖のシャツとかって白いので、すぐ汚れてしまったりするので、白無地でっていう指定の方が、家庭の立場からすると、週に3回ぐらい、体育があったりして体操服で通ったりすることを考えると、そういう方が個人的にはいいのかなと思いました。もし統一感を持たせるっていうのであれば、ワッペンとか名札みたいなのをアイロンでつけたりすることによって、統一感というのを求めるだとすれば、できるのかなと思いますし、どこまでってのはすごく難しいところですし、最終的には市の方で決定するのかなとは思いますが、やっぱり、いざ替えを買おうってなると、在庫がないですって言って待たされたり、指定品だと待たされてしまったりだとかっていうのもあるので、私も含めて皆さんやっぱり、小学生・中学生の時は、指定の体操服っていうのが皆さんあるので、それが当たり前だなっていう前提で、多分議論されてると思うので、せっかく新しい学校ができるので、そういうのも1回リセットした

上で一番適切な方向性でできればなと思います。あと、ある一部の方も書いてましたけど、会社とかも今、クールビズとか言ってるんで、夏の制服とかだったら白のポロシャツとか、そういうのもいいのかなと個人的には思いました。以上です。

委員長：ありがとうございます。まず今おっしゃっていただいたすべて指定か一部指定にするかどうか、一部指定の場合にはどこまで対象にするのか、この辺をまず決めていければなといったところで今ご意見ありがとうございました。補足だけ私の方からさせてもらおうと、現在の学森の制服は一通り揃ってるように見えるかと思うんですが、実はですね、ブレザーだけ指定で、それ以外はある程度、指定じゃなくてもいいということで、ある程度は色合いの規則とかあるんですけども、必須じゃないというルールになっているので、厳密には一部指定、ただし、全部ベースのものは作ってあるというような形ですね。事務局の方々、そんな認識でよろしかったですか。

事務局：改めて、学園の森の制服の運用といいますか、そこを振り返りさせていただきたいと思ひまして、資料を画面共有させていただくので、少々お待ちいただけますでしょうか。これは毎年度の始業式・入学式の時に、各児童・生徒さんの方にお配りさせていただいてるかと思うんですけども、学森ライフというもので、次のページですね、7年生から9年生については①で指定品着用となるものというところでブレザーの方は指定品となっております。あと長袖シャツの方も式典用のブルーのシャツは指定になっているんですけども、それ以外の場合は白無地のものであれば市販品でも可というふうになっております。またネクタイ・リボン、あと女子のスラックス用ネクタイについては指定品というふうになっております。②の方で指定品もしくは基準に沿って、各自で準備するものというところで、ズボン・スカート、女子のスラックスにつきましては、一応指定品はあるも

の、別にグレーの無地のズボンであれば、OK という形になっています。指定品なしというところでは、半袖シャツ、夏季につきましては白地のワイシャツ、ポロシャツの方は市販品でも可となっております。その他ソックス等も指定品はなしというところで、白・黒・紺色の無地またはワンポイントを基本とする、というような形となっております。事務局から現行の学森の補足でした。

委員長：はい、ありがとうございます。ですので、決めていくとしたら、すべて指定品ですべて指定で着ていただくっていう案か、一部指定にするんですけども、すべてのものは準備するにしますけども、学森のようにブレザーだけ指定にして、必ずしもそれは着なくてもいいと。ただし、この範囲までっていうようなルールを作っていくか、あとはそこを全く作らないかどうか。このくらいの中から選んでいくのかなと思っておりますけれども、皆さんその辺も含めてご意見いただければと思います。はい、お願いします。

委員：ブレザー指定っていう話で進んでいた時、私は考えてなかったんですけども、例えば、学森の子ってもうすでにブレザーを持ってるわけじゃないですか。その子たちは自分でワッペンをつければ OK っていうことですかね。であるのであれば、ブレザーは指定品っていう言い方は、実はちょっとおかしくて、何か自分で買ってきた、例えばユニクロで安いのを買いたいですというのは、それはそれで OK なのかなあと思うんですけど、皆さんそこはどういう前提でお考えでしょうか。

委員長：アンケートを取る時も、今、制服をお持ちの、例えば、7年生9年生が新設校行く場合は、そのまま以前のものを使っていいとかっていうような、前提でアンケートとっていたかと思うので、特にワッペンも変えずにそのまま使っていいような印象を皆さんお持ちなのかなと思っていましたけども、春日から学森もそういう形だったかと思うんですが、そうですよ

ね。

委員：はい。相違ないです。

委員長：はい。なので、そのまま使ってたものは、買い替えまで使っていただくということでいいのかなと思ってますが、どうですかね。そんな認識で皆さん大丈夫でしょうか。回答になってますか。はい、次お願いします。

委員：ワッペンじゃなくて、取り外しができるバッジの方が私はいいかなって思ったりしています。ワッペンって剥がしたら、べたべたになっちゃうイメージがあって、ジャケットを汎用性がなく着られなくなっちゃうのかなって思いまして。ワッペンかどうするかっていうところに関しては、このアンケートをもってどう進めるかっていうところにおいては、やっぱり両方の意見を尊重した形、今の学森の形が一番いいのかなと思いますので、学森と竹園東を融合した、もうちょっと選択の幅を広げられるような形まで持っていけたらいいかなと思っています。

委員長：はい、ありがとうございます。他、皆様いかがでしょうか。何かご意見いただければと思います。はい、お願いします。

委員：確認なんですけど、学森のブレザーのワッペンは、もうついている感じですか、取り外しができるんでしょうか。この新設校になった場合に、今お話にあったワッペンをつけるっていうことが可能なのか、その辺をお伺いしたいです。

委員長：事務局の方々、ご回答できますでしょうか。

事務局：事務局です。学校の方にお伺いなんですけど、こちらの認識としてはブレザーの方にワッペンは備え付けといいますか刺繍で付けられている形かと思うんですけれども、それでよろしかったでしょうか。

委員：私も直接、触って確かめてないんですが、着脱式ではなく、縫い付けだったかなと認識してます。あと、あちらの学校に行くからといって、ワッペンを替えなさいだとか、制服そのものを新しいものにしなさいというこ

とは、おそらくないとは思いますが。学森の制服のまま卒業する子もいると思うし、実質は新7年生から買いそろえていただくということになるのではと思います。以上です。

委員長：はい、ありがとうございます。なかなか現状は、任意の方々だけでもワッペンだけ変えればいいのかなどというところがあったかと思うんですけど、難しいのかなといったところなので、使っていただくしかないのかなというところですかね。他、皆様ご意見ありますでしょうか。はい、お願いします。

委員：先ほども指摘されたことなので重複してしまうかもしれないんですけど、やはり一部指定が良いと答えている方の理由の中に、私服をイメージしてる方と、指定品に代わる、安いものが買えるっていう、色とかは、統一されてることが前提というのを踏まえて答えられている方と、どれくらいの比率でいるのかなっていうのを、今、見ながらしゃべっているんですけど、結構、大多数対少数っていう感じでもないのかなというふうに思っていて、いろんな意見があるんで、この委員会の中で決め切るのが難しかったりするのかなと。こういった情報を整理した上で、もう1回アンケートをとって、決めるのかもしれないなと感じています。

委員長：ありがとうございます。お話を聞いてると、アンケートもそこまで一部指定と全部指定で顕著な差はなく、全体で見れば、若干、一部指定が多いだけっていう形にはなっていると思いますし、一番留意すること、制服に関しては価格がトップにはなっているわけではないので、動きやすさとか着心地とか、そういうところの方がニーズとしては高いかなと思っているので、皆さんの意見を考えてまだ結論じゃないですけども、学森パターンで全部準備するけども、一部指定っていうところが何となくいいのかなっていうところで、一部指定の範囲については今日決めずにですね、もう少し委員会で議論して行って、規則をある程度作って、アンケートとるのがいいの

かなとも思ったりしたところですが、その辺も含めて、まず制服を中心に、また意見いただければなと思いますけども、いかがでしょうか。とりあえず今日決めないといけないことはですね、いわゆる制服を作り込む業者にそろそろ依頼をかけないと、作る時間がもう迫ってきてるということで、すべて指定で会社で制服を作ってもらうか、もしくは、ブレザーだけ作ってもらっていったところを、決めていきたいといったところなので、そこら辺を今日決議できるような形を中心に、それ以外は次回以降でも多分大丈夫だと思うので、そんな形も頭の中入れながら意見いただければなと思いますが、皆様いかがでしょうか。実際の学森の運用方法とかは全部ものは作っていますが、一部指定で、ある程度自由な形ですけども、実際に生徒さんは全部買われてるものなのかとか、自分らしさを作るために、規則の範囲内で、おしゃれなものを入れてるとか、その辺、見る限りでそういう印象とかあれば、ご意見いただければと思いますが、いかがでしょうか。はい、お願いします。

委員：はい。私が見てる限りでは、いわゆる私服というか、全く制服と違うようなものを履いている、特に男子の方では、そういった印象はないと、皆さん買われてるのかなという印象ですね。ただ、もしかしたらズボンと同じ色の系統なら、大丈夫なんだよっていうのが、開校してから時間が経つにつれて、だんだん周知されてないっていうか、認識されてないのかなというところもあるので、今度の新入生説明会とかで、改めて確認はしていく必要あるかなと思います。それに関して、何で学校の指定されたものを買わなきゃいけないんですか、といったような問い合わせは、私はまだ日が浅いんですけども、受けたことはありません。あともう一つ、ちょっと話ずれてしまったら申し訳ないんですけども、今そのジェンダーフリーという面で、女性に女性イコールスカートということがないように、しなければいけないのかな、というのは考えてはいます。以上です。

委員長：はい。ありがとうございます。そうですね。その辺は全部指定なのか、一部指定なのかっていうルールを決めるのもそうですが、やっぱりいかに周知していくかっていったところが大事なのかなということで、学森もルールあるのに知らない方とかも、もしかしたら多くて、それで販売店行かれて、あるままに全部買っちゃうみたいなのところもあるので、販売店の方々が買う時にちょっと言ってくれるのとかだと、一番気づくのかもしれないんですけども、彼らも商売なので、一概にブレザーだけとなると、利益も関わってくるので、誰が知らせていくのかっていうのは難しいかなとも思ったりしているところですが、その辺も含めて、いろいろ忌憚なき意見をいただければと思いますが、いかがでしょうか。何かあればと思います。はい、お願いします。

委員：はい。研究学園中学校としての制服は、やっぱり作らないといけないんですかね。と言うのも、やっぱり小規模校で、中学生2クラスですよね。ロット数が少ないので、業者との価格交渉もしにくくなって、なかなかこう、価格を安くできないんじゃないかなという気持ちもあり、例えば学森とか、もしくは春日の制服をもう標準服として、何かこういう参考の服ですよ、プラス、ブレザーはある程度指定にして、他はもうちょっと個性が出せるようなものに持っていけたらいいのかなと思ったんですけど、ただ制服を、今の学森だとみんな同じ形に結局なっていて、あれを着なきゃいけないんだっていう気持ちにならないかなって、せっかくブレザーだけ指定して、他は自分の個性ある程度出していきたい。その家庭の事情で、物を選択していきたいっていう意見が多い中で、そっちにしないといけないよっていう気持ちにならないといいなって、ちょっと思っています。

委員長：はい、ありがとうございます。次、お願いします。

委員：私たちが議論しているのは、やっぱり価格とかなんですけど、このアンケートを見ると価格ではなく、動きやすさや準備がまとめてできるのがい

いとか、別々だと買うのが大変とか、結構あるので皆さんアンケートを見る限りでは、学森のように、私も土屋に買いに行ったときに、その店員さんが教えてくれたんですね、この自由でいいんですよとか、ストライプは行事だけで着ますっていうのを教えてくださったので、買わなくて済むというか、あとはカップが白でなくてはいけなくて、雨の日は自転車通学なので白のカップを着てくださいと、やっぱり目立つからっていう理由なんですけど、土屋で買わなければ、別で買おうとしたら白っていうのはなかなかなくて、カップの代金は高かったなっていう記憶はございますが、制服はある程度買ってしまえば、あとは中が自由であったりするので、かなり抑えられたかなというふうには感じました。なので、私服がいいというご意見も皆様おありですが、やはり皆さんこのアンケートをとった結果では、価格ではなく、着やすさや一部指定だったらいいっていう考えなので、学森と一緒にパターンでいいのかなと私は思いました。以上です。

委員長：ありがとうございました。はい、お願いします。

委員：はい。私、価格交渉ってところは全然考えてなかったけど、そのスケールメリットを出したいのであれば、ブレザーについては、学森と同じものです、ただワッペンが違います、みたいな指定の仕方をすれば、価格はそんなに高くないと思って。作ってもらって言っても、本当のこと言うとしたらどっかのメーカーから買ってきたものに、ワッペンをつけるとか、組み合わせを変えとかで制服屋さんって売ってると思うんですけど、新しいデザイン、カッティングを変えてくれとか言うわけじゃないので、ベースの部分は学森と同じですとか、もうそれこそ、つくば市をすべて共通にしまえば、みんな、リユースのものも使えますし、そういった先進的な取り組みを、未来が見えるって言ってるので、やってみてもいいんじゃないかなと思います。もう1点、すごく些末なことなんですけれど、シャツの色を体操服にしろ、ワイシャツにしろ、白を指定してくるっていうの

は、違う色も認めて欲しいと思います。夏に白いシャツを着てきなさいって女の子に必ず求めることが、必ずしも適切だと私は思わないので、白のみっていうのはやめて欲しいなと思います。以上です。

委員長：はい、ありがとうございます。まさに SDGs と呼ばれることがありますけれども、なかなか、この委員会の範疇で出来る議論の限界超えてるので、1 意見として事務局に聞いていただいて、また市の中で議論していただければと思ったところではありますが、あれですね、先ほど当初の中学生の学年は 2 クラスということがありましたけども、年々増えていくんですよ、1 番増えると 5 クラスくらいはできるので、ある程度、作る会社も多少はロットも増えていくのかなという部分もありますが、今のお三方の意見に対して事務局から何かコメントあれば、お願いしてよろしいですか。

事務局：事務局です。ロットというお話もあったんですけども、今後メーカーを決めていくにあたって、どちらかというと、ロットというよりは使う生地のところですか、そういったところで価格っていうところは決まってくると思うので、また委員長がおっしゃったように研究学園の方は、最初は 2 クラスというところもありますけれども、どんどん増えていきますので、ロットというところではなくて、使う生地とかそういったところで価格っていうところは上下していくのかなと思います。

委員長：多分ブレザーの価格そのものはですね、春日と同じものを再利用するような形でも、春日と比べて大幅に安くするとかっていうと、じゃあ学森の方は何でこの値段なんだって話も出てくるので、正直なかなか抑えるのは難しいかなと、価格重視の方がもしおられたら、さっきの話にもありました通り、ブレザーだけにさせていただくとかっていうことで、コストを抑えるっていうようなアプローチ踏んでもらうしかないのかなと思うので、制服の中だけで、ブレザーで幾らか安くっていうのは、ロットと言われても 1 校じゃたかが知れていて、本当に大量生産じゃない限りは安くな

らないと思うので、そこを業者に無理強いするのは厳しいのかなと、思ったりしております。そろそろ意見も出てきたのかなと思いますけども、その他、気になってる点とか皆さんの意見を聞いて思ったことがあれば、また発言をお願いできればと思います。はい、お願いします。

委員：はい。一つお伺いしたいんですけども、春日から、学森に分離した時の制服の議論の中で、春日のブレザーと学森のブレザーっていうのはもう全くがらっと変えてしまったんでしょうか。

委員長：もしわかれば、意見いただけますか。

委員：もし発言に誤りがあったら事務局の方で訂正お願いしたいんですが、確か学園の森ということで緑をイメージとしたデザインでいきたいという、それはちょっと春日とどれぐらい差異があるかといわれると私も正確に覚えてないんで、何とも言えないんですが、春日と、方向性は違ってるかもしれない。あと、先ほどから出た価格の部分については、学森の時の制服のコンペで業者さんとの調整の中で、素材の機能性とか、その辺をどれだけ盛り込むかによって値段が大分変わってました。例えば防水とかあとは、ウォッシュャブルとか。その辺をどれだけ盛り込むかによって値段は結構変わってくるって印象を受けました。以上です。

委員長：はい、ありがとうございます。はい、お願いします。

委員：機能を盛り込むと制服の値段上がりますよね。で、洗えるものがないっていう声もたくさんあるとしたら、やっぱりある程度丈夫なものじゃいけないといけないのかなと思います。価格が高くなれば家で洗うのって余計不安になって、洗えないなって感じがするので、家で洗えるんだったらやっぱり、買い替えができるぐらいの値段の方がいいなと思う。すごい矛盾になってしまうんですけど、ちょっとその辺が、気になりました。あまりそのブレザーとかに機能を持たせないで、それよりも授業中にカーディガン着てもいいよ、とかの中間、人それぞれだと思うんです。暑がりの人も

いれば、寒がりの人がいて、それを全部ブレザーでこう、抑え込むじゃないですけど、ブレザーでやろうと、コントロールしようとしちゃうと無理が出ると思うので、そこは授業中脱いで、あまり機能をそこまで重視しないで、個人の管理とかでうまくやれたらいいんじゃないのかなと思います。以上です。

委員長：はい、ありがとうございました。そうですね。業者と調整していく部分と、それとは別に規則を作っていく部分っていうものが多分あるかと思いますが、後者の方はこれから議論して決めていければなとは思ったところでございます。はい、お願いします。

委員：はい。先ほどのご提案が非常に興味深いなど。確かに、ベースは同じにしちゃって、ワッペンだけ変えるということであれば、うまく価格の調整もできたり、それこそリユースなんかもしやすくなるので、参考になる意見なのかなと思ひまして、春日から学森に分離したときに、どのような議論があったのかなということでお尋ねしました。以上です。

委員長：はい、ありがとうございます。他、皆様意見ありますでしょうか。大丈夫ですかね。そろそろ制服だけについて全部指定か一部指定かといったところを決めていきたいなと思つてるところであります、お話を聞いていると、準備するものとしては一式準備していただいて、ブレザーくらいは必須で、それ以外は必須ではないけど、ルールを作っていくといったところが皆さんの総意かなとは思つていたりしますが、そういう認識で皆様よろしかったでしょうか。大体聞いていただいているので、そういう形でまず1点決定させていただければなとは思っています。ですので、事務局の方々としてはですね、業者が決めるにあたって、一式を手配するというところで考えていただければなというところでございます。次に体操服の議論があまりできてなかったと思うので、体操服について議論させていただければと思うんですが、その体操服のアンケートの結果を見ると、制服とは違つ

て、基本的にすべて指定という割合がかなり多くなっているのかなと。価格より着心地っていうところの意見がかなり多くなってきたので、やっぱり制服と比べると値段が若干抑えられてるといったところもあるので、そういう回答かなとは思っておりますが、アンケートの結果とか含めて、どちらがいいかとか、個人の見解とか含めてご意見いただければと思いますが、いかがでしょうか。はい、お願いします。

委員：はい。結構、着心地っていう話が出てるんですけど、実際、春日とか、今の学園の森とかの体操服、ジャージって着心地いいんですかね。ていうところがまずあって、そろえるのはいいんですけど、まず着心地と、価格っていう点で今の価格って妥当なのかなっていうところと、そろえてもらうのはそろえてもらって全然結構だと思うんですけど、さっき私もお話ししたんですけど、半袖シャツぐらいは自由でもいいかなって個人的には思うんですけど、どうなんですかね。学校、市で指定してるものって着心地、コストパフォーマンスっていう点ではいいんでしょうかね。ちょっとそこがわからないので。あと、先ほど学校の先生もおっしゃってましたが、制服もそうですし、体操服もそうなんですけど、うちの子供は小学校なんで最近知ったんですけど、上の半袖シャツがないときは別に指定の服じゃなくていいよって知ったのが最近で、制服も実はこんなに自由っていうとあれですけど、それに似たようなものでよかったんだっていうのも、周知してたと言ってたんですけど、先生もおっしゃった通り、多分、あまり周知されてないという部分もあるので、私だけ知らなかったのかもしれないんですが、その辺りとか含めて、周知の部分だとその着心地が実際いいのかどうかと、それに対する価格っていうのは見合ってるのかとか、私はちょっとわからないので、皆さんはお子さんが春日から学園の森に來たりだとか、もう中学生って方が結構いらっしゃると思うので、もしわかったら、そのあたりを教えていただければなと思います。

委員長：ありがとうございます。事務局の方々からも、さっきの制服と同じような説明で、どんな形なのかとか、あと値段感とか改めて前回までの委員会とかでご紹介いただけてますけども、初めての方もいらっしゃるのですので説明してもらってよろしいですか。

事務局：事務局です。学森の体操服については、このページの上についてなんですが、体操服の方は指定品ということで半袖・半ズボン、また長袖・長ズボンのところは指定のものを使っております。価格のところはお調べしますので、少々お時間いただいてもよろしいでしょうか。

委員長：お願いします。はい、お願いします。

委員：開校時の資料でちょっと古いかもしれませんが、体操服の長袖の上が、サイズによりますが大体 5,000 円弱。長袖・長ズボンが 3,000 円台。半袖のシャツが、大体 2,000 円弱。ハーフパンツが、3,000 円弱ぐらいといった値段で開校時は出てました。あと先ほどから話が出てました着心地については、うちの子供の見解で受ければ、そんなに着心地は問題なくて、ただ今回のアンケートの中であった、袖口周りが狭いって話については確かにそうだという話がありました。私からは以上です。

委員長：ありがとうございます。そうですね、私も体操着とか自分で着てるわけではなく、子供を見ている限りですと、着心地悪いとかっていう意見は聞いたことはないですけど、自分たち大人の色んなスポーツの素材とかと比べると、ストレッチ性とかそういうものは少ないのかなと思ったりはしたりとかもしますし、若干汚れやすいのか、汚れが落ちにくい素材なのかなとかっていうものは個人的には思ったりはしているところですが、事務局の方々、お願いします。

事務局：事務局です。先ほど価格のところ委員の方からもご説明いただいたんですけども、半袖とハーフパンツについては、サイズによってまちまちではあるんですけども、半袖の部分は、2,000 円から 2,400 円程度。ハ

ーフパンツについても 2,500 円から 3,000 円程度といったところでございます。また長袖・長ズボンについては、長袖の上着の方ですね、こちらの方は 5,000 円から 5,400 円程度。パンツの方はですね 3,600 円から 4,000 円程度という形になっております。事務局から補足になります。

委員長：説明ありがとうございます。今までのお話聞いて、改めて何か意見ありますでしょうか。はい、お願いします。

委員：春日の話になるんですが、春日は確かフィラのジャージの素材だったと思うんです。フィラはとても分厚くて、乾くのにかかった記憶がありまして、今の学森の体操服は乾きが早いと思います。例えば夜洗って分厚いジャージとかは、ゴムのところは湿り気がありますが、夏場でしたら直ぐ乾くし、素材に関しても着やすいかなと思います、春日から比べたら全く着やすさはいいと思いますので、同じところでデザインを少し変えるという形でいいのかなと私は思います。以上です。

委員長：はい、ありがとうございます。はい、お願いします。

委員：指定するのももちろん良いんですけど、今、学森のジャージを着ていて、結構値段が高いから丈夫だとは思っているので、例えば、上の子が中学生になって、間が空いて下の子が入ってくるときにも、わざわざそこで買い換えずに学森のを使いたいなって思います。なので、やっぱり全部指定じゃなくて制服のように、ある程度自由をきかせられたらいいのかなあと思っています。以上です。

委員長：はい、ありがとうございます。確か体操服の方に関しては学校の方から、長袖・長ズボンは少なくとも指定でそれがあの任意でもいいのかなっていう意見もあったかと思いますが、やっぱり体操着も一通り作るものの、ここは必須、ここは任意みたいな形に持っていくのがいいのかもしれないですね。実際に今までの話とか聞いて何か、ご意見あればと思いますが、いかがでしょうか。はい、お願いします。

委員：体操服についても、やはり転入生も多いですし、そういった場合もすぐに購入できないとかまたは、前の学校のものが着られるということであれば、もちろんそれも着て構わないということでやっておりますので、それと同じような感覚で、新しい学校に行っても、もちろん学森のものを着用しても構わない、併用しても構わないということにおそらくなるとは思いますので、言葉の綾かもしれませんが、お店で売るときも何か指定という言葉を使わないで、標準というふうな言葉にすれば、いいのかなと。指定表示されちゃうとやっぱり買わなきゃいけないっていうふうになっちゃうと思いますので、そのあたりも、業者と調整できればいいのかなと個人的には考えてます。以上です。

委員長：はい、ありがとうございます。私も直近で買いに行っていないのでわかんないですけど、指定って販売店では書いてあるんですかね、標準って書いてあるんですかね。もしどなたかわかればと思いますか。はい、お願いします。

委員：必ず指定って書いてあります。その2文字がいない同調圧力を生んでいると私も思います。転入生がOKなら、お下がりだって当然OKで、右の学校では子供が動きやすいけど左の学校に行ったら動きやすすくないなんてことありえないんで、体操服ぐらい自由にしても、家庭が適切だと思う物を着せればいいだけの話だと思います。

委員長：はい、ありがとうございます。そうですね。販売店の方々とも何か意見交換とかね、こっち側の意見を聞いてもらえる環境があればいいなとは思ったところですけども、どこまでできるかはまた別のところかと思っところなので、事務局の方々も何か機会があれば、ぜひ販売店と相談してもらえたらいいかなと思いました。ちょっと脱線しましたが、何かその辺も含めて意見いただければと思いますが、どうでしょうか。特段なければ体操服も、はい、お願いします。

委員：ちょっと議論についていけないのかもしれないんですけど、やっぱり何か昔の体育大会とか、みんなでクラスで同じ鉢巻きをしてですね、一緒に練習して、スポーツに取り組んだとかそういったのをすごく美化して記憶しているのがあって、今、自由に向かう方向で話は進んでるんですけど、私はそういう大会とか、せめてそういう行事だけでも統一感があるようなものがあっていいと思っています。あと、体操服は週に1回とか3回とか体育がある日には着ていってるんで、コストっていう話もありますけど、すごく使用頻度が高いんで、十分ペイできてるかなと思っていて、あまりコストを気にしたことがないかなと。

委員長：はい、ありがとうございます。他、いかがでしょうか。はい、お願いします。

委員：今の学森のジャージとか、体操服っていうのが洗っても廃れないし、毛玉も割とできにくいなって思っていて、丈夫でいいなと思っています。それ以外で、体操服のアンケートで、一部指定が良い理由っていうので、安心安全の項目で、肌荒れしてしまうとか、アトピー性皮膚炎の子には向きませんとかっていう回答があったんですけど、制服にもそういう意見が、書かれてあって、例えばジャージって言った場合には、T シャツの上に着るので、そこまで肌に直接触れないとは思うんですけど、直接、肌の上に着る半袖のシャツのようなものって、綿じゃないとかぶれてしまうとか、そういう意見っていうのもあるので、そういったマイノリティーの方の意見も取り入れてみてもいいんじゃないかなっていうふうに思います。以上です。

委員長：はい。ありがとうございます。アレルギーとかある方本当に深刻な問題かと思うしますので、大事な意見かなと。確かでも学森も指定をしておりますが、ある程度柔軟な考え方になってるようなお話が前回あったような記憶があるんですが、そんな形でよろしかったでしょうか。補足とかいた

できればと思います。

委員：はい。おっしゃる通りで、何が何でも学校で用意したものを着用しないといったような指導はしませんので、個別の対応というのはしております。あと体育祭の練習の時期等で洗濯が間に合わないっていったこともあるかと思いますが、そういった時は別なものでも構わないといった指導はしているかと思います。以上です。

委員長：はい、ありがとうございます。はい、お願いします。

委員：今お話いただいた内容全然、私知りませんでした。一生懸命それじゃなきゃいけないと思って、朝に洗って乾かしたりしたりしてたので、やっぱり周知はすごい重要だなと思います。だから、うん。周知ができれば、みんなが、理解して使えるので、その家庭の状況に合わせて使えるので、やっぱり周知しっかりしていけたらいいかなと思います。以上です。

委員長：ありがとうございます。他、皆様いかがでしょうか。よろしいですか、意見が出てきた形ですかね。私の方でまとめると、体操着も制服と基本的に同じようなスタンスで、一通り既製品といいますか、準備はするものの、規則で少し選択の幅を持たせるのがいいのかなと思ったところです。いずれにせよなんですかね、制服も体操服も一通り準備はしますが、絶対ここは持っておいて欲しいと、ここはある程度柔軟にする、といったところの規則づくりと、周知方法が大事なのかな、といったところがありますので、この辺は今日決めないといけないっていうことではないと思うので、次回以降ですね、その辺議論して行って、固めて、保護者に周知して、新設校開校前のところだけで周知するではなくて、学校が始まった後の周知をいかにうまくしていくかっていうところの枠組みとかもですね、議論していくのが大事なのかなと思ったところですが、体操服もあれですかね、業者を決めて、そこをお願いするものとして一式お願いするような形ということとでまず決定させていただいて、柔軟な運用の仕方っていったところをで

すね、改めて次回以降で議論していくような形にできればと思いますが、皆さんそれで大丈夫でしょうか。何か意見とかあればと思いますが、どうですか。よろしいですかね。体操着も一式は業者をお願いして作るということであればなと思ってありますが、体操服・制服にあたって業者をお願いしないといけないということで、業者を決めていくような過程を今後とっていかないといけないということで、コンペをしていきたいというような話もあります。コンペして何社か提案をしてもらって、良い提案をしたところからやるというような仕組みがいいのかなと思ってますが、その辺は皆さんそんな形でよろしいですかね。はい、お願いします。

委員：コンペで何社かってのはどういうふうを選ぶんですか。公募をかけての入札みたいな感じになるのか、その辺がちょっとよくわからなかったの。

委員長：はい。事務局の方でコンペについて今、考えてる内容とか、あとは香取台での先行事例とか、もしくは学森の際のやり方とか、事例的なものをご紹介いただいてよろしいでしょうか。

事務局：事務局です。過去の学園の森やみどりの、香取台も含めまして基本的に制服や体操服を取り扱っている、販売店、取り扱い店の方から、各メーカーの方にお声掛けをいただいて、各メーカーの方から手を挙げていただいたメーカーさんに来ていただいて、コンペという形になります。

委員長：学森の時の進め方とか、経験された限りで気づいた点とか、何か覚えてる点があればちょっと補足とかいただいてよろしいですか。

委員：制服、体操服のコンペについてですが、確かあの学森の時は、この辺の制服関係の、谷田部の衣料品組合っていうところに確か聞いた覚えなんです。そちらの方で、業者さんをいくつかピックアップされて、その業者さんの、当時はコロナもなかった所以对面で、コンペ、それぞれプレゼンを聞いて各社を持ち寄ったサンプル、これまでの納入実績のあるサンプルですとか、いろんな資料を拝見して、服なので資料だけだとわからないの

で、実際のものを着たり触ったりもして見て、先ほど話に出てる着心地とかも確認しながら、どの業者がいいかというのを選んだプロセスがありました。事務局の方で用意していただいた委員手持ち資料の方で、④ですかね、学森の場合の方法については対面で、時間帯については日中にプレゼン、コンペをしたように覚えております。もし、何か誤りや補足があったら事務局の方でご指摘をお願いします。以上です。

事務局：事務局です。今回コンペの開催方法というところで、資料を別途用意させていただきまして、画面共有させていただきますので、少々お待ちください。はい。コンペの開催方法としては今のところですがコロナの影響もあるんですけれども、やはり委員からおっしゃっていただいたように、やはり現物を見てというところもありますので、基本的には対面、会場での開催というところを想定させていただいております。基本的に参加メーカーの方、数社なりますけれども、会場の方に企画書ですとかサンプルを持ち込んでいただいて、各社プレゼンを実施いただきます。プレゼン後に質疑応答させていただいて、プレゼンが終了した後に、委員会の方で審査を行って、制服・体操服それぞれメーカーを一社選定するという運びになります。その後、その同じ日に選定メーカー1社ずつと新設校の制服や体操服について打ち合わせを実施していくような流れになります。学森のような事例で言いますと、そのときですね、1日に制服と体操服もすべてのメーカーを呼んで、すべて決めました。なので大体イメージとしてはプレゼン各社20分くらいですね、大体15分説明いただいて質疑応答5分の合計20分でプレゼンを終えて、5分のインターバルを置いて、次の会社が入ってきて、またプレゼンというような形になります。一日で実施する場合については、長時間にわたりまして、想定では3社・3社となっておりますけれども、13時からスタートして大体17時過ぎまでかかるといったイメージでございます。一方、2日に分けて実施する場合ということで、こ

ちらの方は夜間帯に実施することを想定をして、組ませていただいております。制服に関するプレゼンを1日目にやって、また別日、翌日なのか翌週なのかというところありますけれども、体操服のプレゼンをそれぞれしていただいて、それぞれの日にメーカーの方を選定していくといった流れの2案を考えております。注意点というところではですね、メーカーがプレゼンをした後に質疑応答の時間での5分程度を設けることを想定してるんですけれども、やはり時間が限られますので、あらかじめ質問内容等は事前に調整しておく必要がございます。またサンプル品については各メーカーがですね、今回の新設校用にというところではなくて、既存の他の学校さんとかに卸している既製品を持ち込みいただいて、プレゼンをしていただくような形になります。コンペの準備期間として、各メーカーさんの方でプレゼンの準備等ございますので、大体1ヶ月から1ヶ月半程度あけた後にコンペ実施という運びになります。またコンペの実施日程をですね、例えばと土曜日とか、休日の方に設定した場合、場合によっては催事等でメーカーの方が参加できないといったところがございますので、その点だけ注意点として挙げさせていただきます。以上、事務局からコンペの開催の案というところでお示しをさせていただきました。

委員長：はい。説明ありがとうございます。コンペはしたほうがいいのかなどはと思いますが、今の説明に対して質問とか意見があればお願いします。はい、お願いします。

委員：価格はどこが決めるんですか。販売店が決めるんですか。というところが一つと、あとはそのコンペで、業者さんに出していただく価格っていうのは、販売店への卸値、販売店への提示価格っていうのを、出してもらうことになるんでしょうか。価格のところがよくわからないので教えてください。

委員長：事務局、回答できますでしょうか。

事務局：事務局です。わかりにくい説明なってしまいまして、申し訳ございませんでした。実際ですね、今、学園の森の方でコンペをやったところの、各社が持ってきた企画書を画面共有させていただくんですけれども、まず大前提として、コンペに参加いただくメーカーさん、制服を取り扱ってる会社さんについては会社名を伏せた状態でご参加をいただきます。その中で素材ですとか、生地ですとかあって、最後の方に、基本的に学園の森の際はですね、そのメーカーさん、取扱店の方が他で卸している金額のところ、参考価格帯といいますか、販売の価格帯というところをお示しいたしました。この時はですね、制服を専門で扱ってる会社についてはこういったところで卸しているというところと、大体の販売価格といったところをお示しいただいております。こちらの方の回答でよろしいでしょうか。

委員長：はい。今の説明で、また意見とかあればお願いできればと思います。

はい、お願いします。

委員：そうすると販売価格はメーカーがほぼ決めてしまうんですか。販売店が多ければ競争になって価格が下がったりするのかなって思ってたんですけども、そういうことではなく、学森も幾つか販売店あるかと思うんですけども、全部同じ値段で売られてるんですか。

委員長：これもどなたかわかればと思いますが、どうですかね。

事務局：事務局です。学森の制服についても取り扱い店舗いくつかあるんですけれども、基本的に販売価格は同じ価格となっております。

委員：それって販売店同士で決めちゃまずいんじゃないんですか。法律上、それはよくないんじゃないんですか。価格を合わせて、何か問題になって、ニュースになったような記事を見たことがあるんですけども、価格を合わせてしまった販売店同士が。法律に触れないのであれば、良いのかなと思うんですけども。

委員長：どうなんですかね。この辺は私もよくわかんないですけど、家電とか

も何かメーカー販売形と違って一般的にその提示した上で、あとは販売っていうのは何か裁量でいろいろやってらっしゃるのかなっていうふうには思いますが、あんまり大量に売れるものではないと思うので、販売店が昔からの慣習でも、そのままの感覚でやるっていう文化があるのかどうかだと思っと思うんですが、我々の介入はできないと思うので、そこはもう販売店に任せるしかないのかなと思うんですけど、何か事務局から補足があれば発言いただければと思いますが、どうですか。

事務局：事務局です。今までのコンペに関しましては、当然最初の段階では、メーカーを決めるコンペですので、それぞれ納品してもらった実績の物を持ってきていただいて、こういった価格帯を扱ってますという紹介だけをしてもらって、選んでもらったっていうのが、コンペです。そのあと、決まった会社については、新しい学校用のものを作っていただくので、そのときに、こういった価格帯のを作って欲しいとかっていうのは、皆さんがご要望することで、メーカーさんとのご相談になります。メーカーとしては、こういう製品についてはこういった価格帯ですよっていうことを出してきた場合には、販売店ではそれよりも高く売ることがないと思いますので、それよりも同等かそれより低い金額になるのかとは思っ思うんですが、販売店が全部同じかどうかっていうのは、その組合の中でそれぞれを各々決めてたりすることだと思いますので、その販売価格にしてくださいっていうふうになってるかどうかは、こちらではわからない部分がありますので、その辺の販売店での価格っていうのは、取り決めっていうか、個人個人がこういった感覚で価格を設定してるかなんじゃないかと思っ思います。あくまでメーカーから出される金額は、この価格っていう目安なので、皆さん方が金額を知ることになった上で、それより高い価格で販売店は販売できないんじゃないかとは思っ思いますので、そういった意味合いでの目安としては出してもらおうということになります。新しい学校用については、

その決まったメーカーさんが次の段階で出していきますので、そこは皆さんが交渉する番になると思います。以上です。

委員長：はい、ご説明ありがとうございます。そこまでは介入しにくいと思いますが、販売店と意見交換できる機会があればですね、いろいろ検討してくださいと、一言言うくらいが限界かなとは思ったりしているところです。他、皆さんは何か、コンペの仕方とか、あとは素材等の価格とかっていうようなプレゼン資料で、キーワードが気になったのかなと思いましたけども、どの辺をメーカーに要望していくかといったところでご意見とかあればと思いますが、いかがでしょうか。私の個人的な意見とかだとメーカー側は、作ったものの実績とかが多いので、使った実績とかをですね、メーカーがその学校とかに聞き取って、こんなところが生徒の受けがよかったとかっていう声とかもですね、セットで提供してもらったりするといいのかなと思っていましたけれども、そんなところとかも、公募する際の条件に入れるかどうかとかですね、そんなところも含めて何か公募するにあたっての仕様書を事務局でこれから作っていただくことになると思いますが、その参考になるようなご意見とかがですね、ご発言いただけるとういかなと思ったりしますが、どうでしょうか。なかなかこの辺は日々の生活と直結しないので、アイデアがすぐ出てこないと思いますが、はい、お願いします。

委員：選ばれたメーカーとは永続的な契約を結ぶということになると思うんですけど、倒産してしまったりとか、事業が継続できないとか、制服はもう作れませんかになったら大慌てになるわけですね。なんかそこら辺の何か、事業継続性みたいなこととかも評価しなきゃいけないのか、とか思いました。以上です。

委員長：ありがとうございます。確かについ先日も、東京かどこかで4月に制服が届かないとか何かニュースがあったような記憶もありますが、確かに

メーカーが作れないとかっていう形になっちゃったら困るので、規模感も大事かなと思うんですけども、これはどこの学校も基本的に一社単独で作って、販売店納入してるって形で、決めさえすれば販売店とメーカーのやりとりで回していくような形で、学校やつくば市役所はもう介入しない形と考えているのかどうか、その辺は事務局から、もし業者が本当に倒産した場合に、誰がフォローするのか、その辺、何かこの経験とか、何かあれば事務局から少し補足いただければと思いますが、いかがでしょうか。

事務局：事務局です。市役所の方で制服とか体操服のそういったところに介入するということではなくて、今、高山中学校の方では、新しい制服・体操服を作ってもらってるんですけども、そういった学校さんの方が主体的に動いていただいて、新しいものを作っていくような流れになるかなというふうに思います。高山中学校については学校さんの方で各メーカーの方というか、制服を取り扱ってる会社のコンペを実際にやって、学校さんの方で、それぞれアンケート等をして決めていくといった実態がございます。

委員長：はい、わかりました。じゃあ、最初のところだけ、今回はこの準備委員会でやって、開校した学校にあとは引き継いで、何かあればメーカーと調整して、見直しをしていくとかっていう形ですかね。他、何か皆様、意見ありますでしょうか。はい、お願いします。

委員：はい、その1社がずっとっていうよりも、例えばもう3年後とか、5年後とか定期的に業者を見直すようなやり方っていうのは、一般的にはやらないものなんでしょうか。そうすると逆に価格なんかも下がることって絶対ないと思うので一社独占だと。なので、そういうふうに定期的な見直しっていうのはあってもいいのかなと思いました。あともう一つは、何かこの間、4月ぐらいに制服の販売のチラシを見ると、このメーカーはいくら、このメーカーはいくらみたいな、2・3パターンあったりする形もあった

ので、メーカーを複数で作って値段がそれぞれ安い、高い、中間みたいな、なんかそんなのもあったんですけども、つくば市では基本的に一社独占みたいな感じが、一般的なんでしょうか。

委員長：これも事務局からまずわかる範囲で回答できますか、そのあとで、学森にどうなってるかと聞ければと思いますけども、はい。

事務局：事務局です。今のA社、B社、C社とかで価格が異なるっていうのは、昔のように学生は学ランであるとか、セーラー服といった同じタイプであれば、どこのメーカーも作るの、価格は変わるのかと思うんですけど、学園の森の今の制服みたいに、その作った会社が独占的に生地とデザインを持ってるものなので、会社と相談かと思います。3年毎、5年毎でってことになるのは、作り変えをしていただかないと、例えば今、学森の生地と同じものを他の会社が作るっていうのは難しい場合もあるかと思うので、そう考えると見直してっていうのは、完全に制服を作り変えていかないと、駄目なのかなと思います。

委員長：はい、ありがとうございます。その辺って何か補足することとか、現状どうしてるのかとか、もしあればお願いできますか。

委員：私、制服・ジャージを作り変えるといった経験がないので、参考になるようなお話ができません。

委員長：はい、ありがとうございます。なかなかやっぱり、この辺もコンペする時の、我々評価する際の一つの判断として考えていくべきなのかもしれないです。例えば、オリジナリティーがあり過ぎて、柔軟な変更ができないようなものにしちゃうのか、ある程度長い目で見て、変更可能なのかとかそういったところもあるのかもしれないですね。はい、お願いします。

委員：はい。先ほどのメーカーを変更するってことは、原則ないんだと思います。先ほどの説明にあった通り、実は制服と体操服をですね、変えるっていうところに携わったことがあるんですけども、その時は例えばですけ

ども、制服だと、カンコーとかトンボとか、皆さんが知ってるような大きなメーカーとかが、何社か作ってきてプレゼンしたっていう形で、それでその時は確か、PTA の代表の方と、あと教職員と、あと生徒会の子たちに投票してもらって決めたこともありました。なので、価格を変えるっていうためには確かに制服を変える必要があります。特に高校なんかですと、かわいいリボンをつけられる学校を女子生徒は選ぶっていうことがあるみたいで、そのリボンをつけたいがために、その学校に入るんだみたいな、そういうのをよく耳にしてたので、制服って大事なんだななんて思ったことがあります。あとジャージなんですけども、ジャージは中学校と高校も、また違うと思いますし、今はスポーツメーカーが高校でも入ってきてまして、皆さんが知ってるようなすごい一流メーカーですね、先ほどでもフィラっていうお話もあったと思うんですけど、昔はフィラなんか多分なかったと思うんですよね。今は皆さん、本当にご存知のようなスポーツメーカーが、高校のジャージを作ってまして、非常にデザインもカッコいいっていうのがあります。ジャージを変えようって言ったときに、やっぱり同じように投票したんですけども、ある有名な、もう誰もが知っていてこのジャージ欲しいよねっていうメーカーさんも入ってきたんですけど、ロゴがあると思うんですよね、フィラにしても何にしても。有名じゃないかもしれないメーカーのものはロゴがなくて、その有名なメーカーは誰が見てもこのメーカーだよってわかるロゴが入っていて、実際は他のメーカーの方がいいのかなって思ってたんですけど、結果、有名なロゴが入ったジャージに決まったことがありましたので、純粋に素材とか着心地とか、価格とか以外の部分で左右されない方がいいのかな、なんて思ったこともありました。先ほどありましたけど使いまわしっていうことで、下の子に上の子が使ったジャージを何とか着させようと思って、いまだに使ってるんですけども、そういう意味では小・中のジャージってすごい丈夫なのか

なっているのを常に痛感しています。子どもが高校の時に、着ていたジャージなんですけど、昔と違ってすごいコンパクトになるんですね。持ち運びが 500 ミリのペットボトルとは言わないんですけども、それよりちょっと大きいぐらいの、ユニクロなんかウルトラライトダウンジャケットみたいな、コンパクトなやつあるじゃないですか。あんな感じぐらいになるジャージで、すごく持ち運びとかも便利だななんて思ったんですけど、逆に言うと着心地とかはわからないんですけども、そういうところもあって本当にジャージを選ぶのは難しいな、ということを感じたことがありました。全然答えになってないんですけども、一つの意見ということでお願いします。

委員長：はい、ありがとうございます。私もそうだと思います。高校くらいになると、子供の体格がある程度大きくなってくるので、大きなメーカーも入ってきやすいのかなと。ただ中学校くらいだと、あんまり既製品としてメーカーが作ってないので、入ってきにくいのかなってということで中学生とかは、やっぱり地元の業者中心になってコストダウンの限界があるってというのは仕方がないのかなと個人的に思ったりするので、あまり価格価格となると業者も苦しくなるので、価格を抑えたい人はやっぱりブレザーだけにしてもらうように落としていくしかないのかなと個人的には思ってる場所ではあります。変更するタイミングはもうですね、なかなか今の段階では難しいかと思いますので、それは導入した後に皆さんに使っていく中でまた議論していただくしかないのかなっていったところがあります。そこは、なかなか今日結論出しにくいと思うので、その辺はまた、開校以降のところで申し送りとか作れるのであれば、後の方々に引き継いでいければと思ったりしますが、まず、コンペをやるっていうことは決まってるのかなと思いますけども、先に決めたいところとしては対面でやるのかどうかと、あとやるなら平日なのか、休日なのか、日中なのか、夜間な

のか、というのを先に決めさせていただきたいなと思うんですが、やはりさっきもおっしゃった通り、対面で素材感を見たりとか、その辺がいいのかなと思うんですが、皆さん対面でやることに對してどうでしょうか。なかなか皆さんの都合が全部合う日が設定できるかって話があるのかもしれないんですが、対面でやる形で、皆さんよろしいですか。基本的に対面でやるっていうことはOKっていうような形で、あと時間帯ですが、多分皆さんお仕事お持ちなので理想はこの時間帯だと思うんですが、2日に分けるぐらいで、1日目はコンペで提案してもらおうと。そのあと評価をして事務局でまとめてもらって、その後、コンペで決まった業者と打ち合わせみたいな形。同じ時間帯の方がいいですよ、平日の昼間に決定して、業者と打ち合わせするとか一気にやったほうがいいとか、その辺、どちらがいいとかありますか。何かあればと思いますが、どうでしょうか。はい、お願いします。

委員：はい。せっかくコンペをやっていただくのであれば、皆さんがそろう時間帯。日中より夜間がよければ、皆さんで考えたいなと思います。以上です。

委員長：はい、ありがとうございます。はい、お願いします。

委員：学森の経験なんです、学森は1日でやったんですが、当然プレゼンをする方も大変だと思うんですが、プレゼンを聞く方も結構大変で、後半は聞くのもしんどかったりする状況もあったので、2日に分けるというのは、そういう点でもリーズナブルな選択かと思います。以上です。

委員長：はい、ありがとうございます。他はいかがでしょうか。はい、お願いします。

委員：確認なんです、夜間にやっても業者さんは皆さんいらっしゃるっていう見解でよろしいでしょうか。以上です。

委員長：事務局の方々、その辺は答えられますでしょうか。

事務局：事務局です。来ていただきます。

委員長：わかりました。ありがとうございます。調整はお願いできればと思います。他、いかがでしょうか。はい、お願いします。

委員：学校の先生方にお伺いしたいんですが、夜間になった場合も対応としては可能でしょうか。教えてください。

委員：学校は対応できます。あと、ちなみに学森の開校の時のプレゼン、コンペの場所はどこでやったんでしょうか。

事務局：事務局です。学森の際は春日学園の方でプレゼンの方、平日の日中の時間帯にやりました。はい。

委員長：今回、もしやるとしたら、学森か市役所どちらかのイメージと考えてよろしいですかね。

事務局：事務局です。学森の時の開校準備委員会は、会場の方を春日学園の学校の方でやっていた経緯もありまして、コンペの方は、学校の方でやっておりましたが、研究学園の新設校につきましては、今のところ市役所の方を想定しております。学校でという希望があれば、検討させていただきます。

委員長：はい、ありがとうございます。そしたらなるべく皆さんが参加しやすいような夜の時間帯で2日に分けて、市役所でやっていただくというような形で、いければなということで、皆様ご理解いただければと思います。あと、メーカーにあらかじめ伝えておくところとしては、いろいろお話あった通り、基本的には学森の時の事例と同じような形で資料を作っていて、事務局からお声掛けしていただくというような形になるかなと思うんですが、どうしてもここにお声がけして欲しいとか、こんな項目は絶対入れ込んで欲しいとかがあれば、ぜひ意見いただければと思いますが、いかがでしょうか。はい、お願いします。

委員：メーカーに求めることなのかがわかんないんですけど、サイズ直しとか、

アフターサービスとか、そういうのは学森の制服だったら、メーカーがやっているんでしょうか。

委員長：どうなんですかね。販売店の範疇なのかメーカーに戻してるのかどうか分からないですけど、事務局、もしわかれば回答できますか。

事務局：事務局です。サイズ直しといったところは個人の家庭の対応になるのかというところなんですけども、ただアフターケア等については、他の過去にやったプレゼンとかの中にも、メーカーさんの方から説明事項としてはあったところではあるので、アフターケアといったところは、今回参加いただくメーカーさんの方にご対応いただけるものなのかなというふうに思っております。

委員長：はい、ありがとうございます。事務局の方々、先ほど学森の際の提案資料とかっていうものを我々委員の方に参考配布とかしていただくこととかっていうのはできるものでしょうか。もし、その仕様書とか、そういう条件の資料とかをこれからお作りいただけると言うんですけども、なかなか今日だけで意見出しにくい部分もあるので、なるべく1週間とかっていう期限を設けていただいて、意見を追加で言わせていただくとかっていうようなこととかっていうのは可能でしょうか。

事務局：事務局です。そうですね、この資料の方を配布することは可能です。ただ週明けにでもですね、各メーカーさんの方には通知を出させていただいて、6月下旬頃を目途に、コンペの方を実施という形で進めさせていただきたいというところもありまして、プレゼンの方に盛り込みたい事項等を考えていただくところとして、可能であれば、週明けまでで、タイトなスケジュールで申し訳ないんですけども、そちらまでにご意見をいただきまして、プレゼンするメーカーさんの方にお伝えさせていただきたいと思いますが、いかがでしょうか。

委員長：はい。過去のプレゼン資料を見て気付くこともあると思うので、そん

な形でいいのかなと思ったんですけど、皆さん、そんな形でどうでしょうか。改めて意見出しもできればと思いますけども、いいですかね。じゃあ、そんな形でできれば、今週中に過去の資料とか送っていただいて、週明け期限で意見出していければと思いますが、大丈夫ですかね。

事務局：事務局です。各メーカーさんには同じ条件下でプレゼンの方行っているところでもありますので、必ずしも皆さんからお寄せいただいた、こういったところをPRして欲しいとあっていったところを、1つのメーカーさんは答えられるかもしれないけれども、他のメーカーさん答えられないといったところもありますので、その点は公平性という観点からも、お寄せいただくご意見については、場合によってこちらの方で精査させていただく可能性もありますので、その点ご留意いただければと思います。過去の学園の森とか、みどりのについては、特段こちらの方からこういったことを改善して欲しいといったところではなくて、販売してる実績ですとか、卸している商品ですとか、そういったところと、あと企業のPRといったところをご説明いただいたというところがございます。

委員長：ありがとうございました。すべて、そのまま要望する必要はないと思いますので、事務局の方からメーカーにどういう内容で、お願いの文章を出すのか、その辺も随時、情報提供はしていただきたいなとは思っておりますが、その辺はもう完全にお任せと考えるのか、それとも少し見させていただける猶予があるのか、その辺はいかがでしょうか。

事務局：事務局です。こちらの方で素案を作らせていただいて、皆さんの方にも展開させていただきたいと思います。ただ、スケジュールのこともありますので、ご回答等は早めにいただくような可能性もありますので、その点ご承知いただければと思います。

委員長：皆様、そんな形で進めていくことでよろしいでしょうか。いいですかね。はい。じゃあ、制服、体操服ともに、ものは全部作っていくというよ

うなことと、あとそれを作っていくにあたってコンペを実施するというところと、対面で、2日に分けて、夜間でやっていくといったところまでは合意が得られたのかなといったところで、ちょっとした内容につきましては、この数日中にご意見をさせてもらおうということで、ここまではOKなのかなと思ってますが、よろしいですかね。事務局の方々、概ね、今日の議題のところは、OKなのかなと思いますけども、何か議論で決定することが不足してるのところとか、ありますでしょうか。

事務局：事務局です。一応確認なんですけれども、制服については学森のような形を踏襲した形で、ある程度想定してらっしゃるところで問題ないでしょうか。一応、一部指定のものは作るとしても、学森であれば、スラックス・スカートは指定のものはありつつも、カラー指定ところは自由な素材のものを選んでいただけるですとか、そういったところの認識は一緒で問題ないですか。

委員長：皆さんその認識かとは思いますが、よろしいですかね。

事務局：あと今回コンペに際して、メーカーさんの方には、サンプルを持ってきたくださいますけれども、基本的に全身のブレザー、スラックス、スカート、またネクタイ・リボンとかですね。基本一式そろえていただいたものをお持ち込みいただくという形でよろしいでしょうか。

委員長：はい。そうですね。はい。お願いしたいと思います。

事務局：はい。かしこまりました。では、こちらの方で急ぎ、準備をしたいと思います。また、本日、画面共有させていただいた過去の学園の森の時のメーカーさんがお持ちいただいた企画書ですとか、そういったところは、この後皆様の方にお送りをさせていただいて、タイトなスケジュールで申し訳ないんですけれども、週明けぐらいまでですね、各メーカーさんにプレゼンで盛り込んでいただきたいご意見ですとか、希望・要望等といったところをお寄せいただければと思いますので、よろしくお願いいたします。

委員長：はい。あと資料3の今後のスケジュールとかまだご説明いただいてなかったと思いますので、その辺の説明いただいてよろしいですか。

事務局：はい。わかりました。事務局です。資料3の今後のスケジュールの案になりますけれども、今回、委員会を経まして、今回、委員の皆さんにメーカー選定方法も含めて決定いただきましてありがとうございました。今後、週明けにでもですね、このメーカーのコンペのところの通知の方をさせていただきまして、大体メーカーさんでコンペに必要なプレゼンの資料の準備等ありますので、大体1ヶ月ほど空いた形で、6月下旬頃を目途に、コンペの方を実施させていただきたいと思います。今回議論の中で、2日間の日程ということで、夜間帯の実施、また対面での実施というところで調整をさせていただきます。その後、コンペを行った後にメーカーを選定しまして、今度は新しい学校用の制服、体操服のサンプルを作っていただくような形になります。こちらは7月中に作っていただきまして、そのサンプルを見た後、また細部の修正ですとか、そういったところの最終の修正を行いまして、委員会の中で決めるのか、はたまた学校の方でアンケートを行うのかといったところの選択の余地があるかと思うんですけども、そういった手段を経まして、9月下旬の頃にはですね、制服と体操服のところは最終決定という形のスケジュールで進めさせていただきたいと思います。スケジュールについては以上で終わりとさせていただきます。何か質問等ありましたらお寄せいただければと思います。

委員長：皆さんいかがでしょうか。スケジュールとか、アンケートするかしないかとか、何か意見あればと思います。大丈夫ですかね。基本的には事務局提案のスケジュールで進めていく形かなとは思っていますが、アンケートするか委員会で決めちゃうかは、今決めなくてもいいのかなと思いますので、今後の進め方とかに応じながら、また意見をいただく形なのかなとは思っています。あと、さっきから議論になっているところでは、全部準

備はしますけども柔軟な運用ということで、規則みたいなのを作っていかないといけないのかなといったところがあるんですが、その規則を作るところの期限とかっていったところは、事務局でいつまでにしないといけないのかとか、規則の検討のスケジュール的なものとかで、何かスケジュール上、根幹となるようなこととかがあれば発言いただければと思いますけどもいかがでしょうか。

事務局：事務局です。その運用の部分につきましては、指定品をどこまで作るのかっていうところも観点になってきます。例えば学森のように、半袖のシャツは完全に指定なしで自由だとしても、例えば長袖の式典用のブルーのシャツは指定で作るというふうに決まっていますので、それを作るとなると、その9月末までには今後のコンペをやった後にメーカーと打ち合わせていく段階で、長袖のシャツは完全に作りますという形になれば、それは9月納品までに間に合わせなければならないので、そうですね、指定をどこまでにして、フリーの部分のところはある程度、時間的な猶予があるんですけども、指定品として何を指定して、いざ作るとなると、基本的は9月末までに作らなければならないので、そういった点は考慮していただかないといけないのかなというふうに思います。

委員長：物としては全部作るという結論にはなってると思うので、その運用のルール決めるところかなと思ってらるんですが、期限はそんなに急ぐ必要ないという回答でよろしかったですかね。

事務局：事務局です。今後、新しく移る方の説明会とかをですね、スケジュールまだなんですけども、そういったタイミングがあると思うので、制服の運用ですとか、体操服の運用というところは、新しい学校に通われる方にお示しをしないといけないので、そこはある種のターゲットになるかなと思います。

委員長：はい、わかりました。じゃあ次回以降とかでも、もうコンペ関係でも

う時間目いっぱい、他の議論ができないのかなと思ったので、その辺の規則とかの話をするのは、また別途、委員会は別日にするとかそんな感じにならざるをえないということですかね。その辺、そういうふうに進めていったらよいか気になったところなんですけど、何か事務局でお考えとかあればと思いますけども、どうでしょうか。

事務局：規則的なところは、基本的にこの準備委員会の方で固めていくような形になります。コンペがですね大体6月下旬というところで結構期間が空きますので、もう一度、委員会の場を設定させていただいて、そういったところも議論いただくような場を設定するというのも一つの方法なのかなと思いますので、今後、皆さんとスケジュール等も含めまして調整をさせていただければと思いますけれども、いかがでしょうか。

委員長：はい、皆様いかがでしょうか。その辺の柔軟な運用のところの議題について1回話すというような形でよろしいですか。皆さんその部分は賛成のようなのでそんな形で進めていっていただければと思いますので、事務局の皆さん、対応よろしく願いしていいでしょうか。

事務局：はい、事務局です。かしこまりました。では次回のコンペまでにですね、もう一度、委員会の場を設定させていただきたいと思いますので、次回の委員会の日程につきまして、またご調整をさせていただきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

委員長：はい、ありがとうございます。その他皆さん、改めて何か制服・体操服で最後、意見あればと思いますけどもどうでしょうか。大丈夫でしょうか。よろしいですかね。はい。議題の二つ目の制服・体操服もこれで議論終了したいと思います。事務局の皆さん、特になければお返ししたいと思います。

事務局：わかりました。委員長、進行いただきましてありがとうございました。次回の委員会のスケジュール調整させていただきたいと思います。予定と

しましては5月下旬頃から6月上旬頃を目途に、実施させていただきたい
と思いますので、スケジュールの調整の方よろしく願いいたします。次
回委員会を設定するに当たりまして、前回の委員会の中で触れさせていた
だいたんですけれども、校歌については以前、作詞・作曲者の方につきま
しては、ある程度、事務局の方に一任というふうに、認識をしております。
ただ委員からのお話の通り、学園の森の時のように委員さんの方から事務
局の方で選定した作詞・作曲者に対して、ご意見・ご要望とか、そういつ
たところをお伝えしたいというお話もありましたので、事務局の方に一任
していただくとしても、何かこういった形で校歌の作成を進めていきたい
という、委員の皆様のご意見等あればですね、次回、委員会の中で議論を
していただきたいと思いますので、それまでの間に委員さんの中で意見交
換、コミュニケーションを取っていただければと思いますので、その点ご
了承いただければと思います。次回の委員会の日程につきましては、また
委員長を介しまして、各委員さんのスケジュールのご都合の良い日を設定
させていただきたいと思いますので、引き続き、委員長にはお手数おかけ
するんですけれども、調整の方よろしく願いしたいと思います。

委員長：はい、わかりました。

事務局：ありがとうございます。その他、何かございますでしょうか。大丈夫
でしょうか。はい。本日は長時間にわたりまして、ご参加いただきまして、
ありがとうございました。ただいまをもちまして第8回（仮称）研究学園
小学校・中学校の開校準備委員会を終了させていただきます。ありがとう
ございました。

4 閉会